

第11回 長生会総会 開会挨拶（会長退任挨拶）

本日は長生会総会にご出席いただき誠にありがとうございます。会長の瀬戸民枝です。

平成23年度に発足した長生会も今回で11回目の総会・交流会となりました。

感染症で人々の行動が全世界的に制限されるという、いまだかつて経験したことのない事態の中で、交流会の開催も令和2年から中断されていましたが、本日こうして皆様方に再会できたことを大変うれしく思います。

みなさん、このコロナ禍の3年半ほどいかがお過ごしでしたでしょうか。生活様式やものの考え方など随分変わってきたように思います。

最近では会議や研修もオンラインが多用され、便利である一方、対面することなく物事がすみ、人間関係が少しドライになってきているかなという感じもします。こんな状況になって改めて、これまで築いてきた人と人との繋がりが、いかに大切であるかを気づかされたようにも思います。“同窓生”は垣根なしの繋がりと安心感をもたらしてくれます。仕事をすうえでも力強い応援団になってくれます。今後も、同窓生同士のつながりを大いに深め、大学で学んだこと、この長岡の地で土木工学に関する勉強をしてきたことを少しでも多く、社会に貢献していけたらと思います。

さて、本日の総会をもって長生会の会則により、私は、今回で会長を退かせていただきます。志半ばでお亡くなりになった涌井正樹前会長から会長代行として引き継ぎ、その後会長として4年間。力不足で大変頼りない会長ではありましたが、皆様のおかげで何とか、本日の総会までたどり着き、次の一步へバトンをつなぐことができそうです。

長生会をここまで盛り上げてくださった初代吉田茂会長、2代目涌井会長はじめ、本日も列席の先生方、職員の皆様、歴代の役員の皆様、ご出席いただいている卒業生の皆様方のおかげです。本当にありがとうございました。

今日は一日、懐かしい友人たちとの旧交を深め、また、同窓生として初めての出会いもあるでしょう。今後も長生会がますます発展し、長岡技大の教職員の皆様、並びに卒業生の皆様のさらなるご健勝を祈念いたしまして、簡単ではありますが、開会の挨拶とさせていただきます。